学校番号	２０８

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合３年	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	家庭総合　自立・共生・創造　（東京書籍）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

人はさまざまな価値観をもっており、それによっていろいろな家族の形や暮らし方があります。多くの人と関わりながら協力しあって家庭生活や地域社会を営む大切さを知り、自分のライフコースを描いていける力を身につけましょう。

2　学習の到達目標

人の人生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族･家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて生活の充実向上を図るための課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 プリントの記述 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 発表、自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月・5月	自分らしい人生をつくる	○生涯発達の視点 ○青年期の課題 ○目標を持って生きる ○人生をつくる ○家族・家庭を見つめる ○これからの家庭生活と社会	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a: 自分の将来の生活設計を、意欲を持ってとりくもうとしている。 b:将来の職業や生活について考えそれらを具体的に描いていくことができる。 c: 人生を有意義に自分らしくすごすために目標と展望をもって生活設計をたてることができる。 d: 男女が相互に協力して家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことの重要性を理解する。 　家族に関する法律についての知識を身につけている。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、自己評価等
6月・7月	高齢社会を生きる	○高齢期を理解する ○高齢者の心身の特徴 ○高齢者を支える ○これからの高齢社会	 ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ 	○ ○ ○	a:高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知り、高齢者と関わろうとする。 b: 高齢化を自分自身の問題としてとらえる態度がみられる。 c: わが国の高齢化の現状を理解し、将来の高齢社会のあり方を考えていくことができる。 d: 高齢者の生活を把握し、高齢者福祉について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、自己評価等
8月・9月・10月	住生活をつくる	○住生活について考える ○住生活の計画と選択 ○住生活の文化と知恵 ○これからの住生活	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ 	a: 住空間の計画や住環境について関心をもち、快適な住まいづくりに意欲的に取り組もうとする。 b: 家族に応じた住居の計画や選択ができる。 c: 暮らしに必要な間取りを考え、平面図を読み取ることができる。 d: 住まいの機能を理解し、その地域の気候や風土にあった住まいがつくりだされてきたことを理解する。 　快適な住居や安全な住居について理解している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、自己評価等

11 月 ・ 12 月	経済生活を営む	○職業生活を設計する ○計画的に使う ○国民経済・国際経済と家庭の経済生活	○ ○ ○	○ ○ ○	○	○ ○ ○	a: 自分が一消費者であることを自覚し、物・サービスの購入のあり方や消費行動ついて積極的に理解しようとする。 b: 消費者の権利と責任、消費行動と環境とのかかわりに関する学習を通して、消費者として責任ある行動とは何かをまとめることができる。 c: 消費者として責任ある行動をとることができるようになる。 d: 消費者としての権利と責任について認識している。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等
1 月	経済生活を営む	○現代の消費生活 ○消費者の権利と責任	○ ○	○	○ ○	○ ○	a: 家庭の経済に関心をもち、短期・長期の経済計画について意欲的に取り組もうとしている。 b:家庭の収入・支出について、適切な考えをもち、判断ができる。 c: 経済計画にかかわる実習を通して、経済的な側面から人生設計を立てる基本的技能を身につけている。 d: 家計と国民経済の仕組みを理解し、健全な経済生活について理解できる。 　契約・問題商法に関する知識を身につけている。	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 レポート、発表、 自己評価等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。